

地域の行事や身近な話題、耳寄りな情報をお待ちしています!

広報誌への問い合わせ、取材依頼は…  
役場企画財政課広報統計係 ☎(86)1134[直通]



↑艦船からゴムボートに移り、小浜港に輸送される住民ら

## 令和元年度原子力防災訓練 対策強化、意識向上図る

地震によって九州電力川内原子力発電所で事故が発生した場合を想定した原子力防災訓練が2月9日、県内9市町でありました。

本町では、地元住民や消防団員などが参加し、災害対策本部の設置・運営や屋内避難訓練などが行われました。

実働訓練では、潟地区が孤立化したことを想定し、海上自衛隊艦船で住民らを潟漁港から小浜港まで輸送。連携や安全管理が確認されました。

参加した山門野分団の平藪隆廣さんは「防災への意識が高まった」と気を引き締めました。

## 出水地区学校保健研究協議会 健康教育について意見交換

2月12日、町文化ホールで、第39回出水地区学校保健研究協議会がありました。

これは、出水地区の学校保健向上を図るため、出水市、阿久根市と合同で毎年行っているものです。当日は学校関係者や保護者など約220人が参加し、健康教育についての発表や協議がありました。

鷹巣小PTAの濱村健太さんは親子で行事や課題に挑戦し、健全な児童を育成する取り組みを発表。参加者から活発な質疑があり、意見交換されました。



↑鷹巣小の取り組みを発表する濱村さん(写真中央)



↑テントの前で記念撮影する会員や職員

## ホールインワン基金 テント2張を寄贈

2月13日、県グラウンド・ゴルフ協会(福山忍会長)が町社会福祉協議会にテント2張を寄贈しました。

これは同協会の会員がプレー中にホールインワンを達成することに寄付をするホールインワン基金の一環です。テントは今後、町内のイベントや災害時などで活用される予定です。

町保健福祉センターで行われた贈呈式で中納武徳会長は「福祉の充実した町づくりに貢献していきたい」と話しました。